

# 私たちは、みどりのちからを活かして、 持続可能な社会の実現を目指します。

人はみどりからたくさんの恩恵を授かっています。

この自然の摂理を大切にしながら、私たちは、みどりと共に夢を見られる持続可能な社会をつくりたいと考えています。日比谷アメニスグループはどんな会社なのか。どんな社会貢献をしているのか。

そのことを、一人でも多くの方に知っていただきたくて、分かりやすく親しみやすい、

思わず手に取りたくなるレポートづくりを目指しました。

私たちと関わる一人でも多くの方に、読んでいただければうれしいです。

レポートタイトル「キニナル」の由来

- 「樹になる」みどりを増やす
- 「機になる」地域の皆さまをつなげる
- 「起になる」新しい事を始める
- 「旗になる」私たちの考えを示す

そんな「気になる」取り組みをご紹介します  
という意味を込め「キニナル」の  
タイトルをつけました。



## トップメッセージ



毎日の小さな積み重ねが、豊かな社会づくりにつながる。

人と社会と環境が共に持続的に発展するサステナブルな社会づくりを目指し、当社では2018年8月に環境宣言を策定しました。その実現のために何より大切なのは、社員一人ひとりが「自分に何ができるのか」を考え、行動することです。日々の積み重ねが自分自身の成長となり、やがては会社全体の活動の向上にもつながり、その先に社会や環境を豊かにする答えがあると私たちは考えています。SDGsへの取り組みもまだ始まったばかり、会社一丸となって推進していきます。

みどりの価値を高める事業で、新たな答えを提案する。

みどりと深く関わる私たちにとって、主要な事業である造園施工やメンテナンス、PPP事業における社会と環境への貢献度を高めていくことは必要不可欠です。既存の枠にとらわれることなく、木質バイオマスに関する再生可能エネルギー事業や、緑地を活用した水資源の再利用に関する研究など、みどりの価値を広げる新たな活動を、今後も積極的に展開していきます。

パートナーの皆さまと共に、持続可能な社会の実現を目指す。

持続可能な社会の実現は、決して私たちだけで完結できるものではありません。造園事業におけるお客さまや協力業者の方々はもちろん、公園等の公共施設に携わるPPP事業では、地域の住民やボランティアの方々の協力も必要です。多くの皆さまの支えによって、私たちの多様な事業が成り立っていることを改めて認識し、今後はさらにそのパートナーシップを強化し、共に社会・環境への貢献度を高めていきたいと考えています。



株式会社日比谷アメニス 代表取締役 小林 定夫